

「コミサポひろしま」では、代表である小玉が熊本県益城町にある文化会館横に活動拠点を設け、益城町を中心に以下の活動を実施しました。

(1) 被災家屋の修繕活動（主に、屋根を中心として修繕）

・対応件数：26件

益城町では、被災から半年以上が経過したものの、9月の台風等の強風、当初設置したブルーシートの劣化により、雨漏りや、瓦の地上への落下の危険性のある家屋などが散見され、活動拠点へは10月を中心に様々なニーズが寄せられた。

中には、すでにカビや腐食によって取り壊しが必要になった家屋もあり、地域内でニーズとして上がっていないケースもあることを実感することとなった。

活動は、主に代表の小玉が現場をコーディネートし、協力団体のスタッフと協力して作業を行う形が多く、また、週末等を利用して随時ボランティアも活動に加わった。

(2) 仮設住宅団地、地域コミュニティにおけるイベントの運営協力

・実施回数：10回

4月から現在に至る活動の中で、多くの住民の皆さんと触れ合う機会があり、それがきっかけとなり、仮設住宅団地でのイベントの実施、保育園でのクリスマス会の企画運営協力などを実施した。

- ・12月28日（水）馬水東道仮設団地餅つき大会
- ・12月25日（土）上辻、安永東、平田仮設団地見回り
- ・12月24日（金）活動拠点での住民向けクリスマスイベント
- ・12月23日（木）馬水東道仮設団地クリスマスイベント
- ・12月21日（火）～22日（水）仮設保育園等でのクリスマスイベント（3回）
- ・11月19日（土）小池島田仮設団地「ふれあいフェスタ」
- ・11月12日（土）広安小学校「復興支援コンサート」

他、小池島田仮設団地内での健康サロンへの協力、おやじの会への協力 等

(3) ボランティアコーディネート

・実施回数：随時

8月中旬～10月15日までの期間は、協力団体のスタッフ3名のコーディネートを実施する他、随時、活動拠点での一般ボランティアの受入れとコーディネートを実施した。

屋根での活動など、特殊な内容が多いことから、経験値のあるボランティアに対しては屋根での活動を、そうではないボランティアには、家屋内の片付けや、屋根の補修作

業に必要な土嚢の作成など、安全性に問題のないものを実施してもらうこととなった。

また、イベント実施時には当団体の無償スタッフも広島から駆けつけ、多くの方にボランティアに参加をして頂いた。

目標)

家屋、特に屋根の補修作業を通した雨漏り等による 2 次被害の防止とコミュニティ支援
活動地域)

熊本県益城郡益城町、および依頼に応じて近隣地域

活動結果①) 被災家屋の修繕活動

家屋の修繕については、12 月末までに依頼のあったニーズは全て対応することができた。また、地域内の家屋の修繕状況、関係団体との協議を踏まえると、ニーズはかなり少なくなっており、当初考えていた「被災住民の皆さんが落ち着いてお正月を迎えられる最低限の環境を整える」と言う、当初の目的は達成できたと考える。

課題) 当初からの課題として出ていた、地域で同様の活動を行える担い手の育成や、コミュニティへの引き継ぎ等については十分に行うことができなかった。今後の見通しとして、春以降にブルーシートの劣化や、梅雨時期に備えたニーズが一定程度出てくると考えており、地域でどのように対応するかが課題になる可能性がある。今後この点を考慮して地域住民や関係団体と協議を行うことを検討している。

活動結果②) 仮設住宅団地、地域コミュニティにおけるイベントの運営協力

①の活動を継続して実施していく中で、住民との信頼関係が醸成され、結果として複数のイベント実施の企画運営に協力することとなった。イベントの実施は、規模の大きな仮設住宅団地ではなく、小規模かつ支援の手が入っていない団地を中心に実施した。実施によって、団地内の繋がり強化に貢献できることが出来たと考えている今後も、ニーズに応じて対応を行うと共に、住民が中心となるよう関わり方を工夫していきたい。

課題) 一過性のイベントではなく、継続して関わりを持ちながら、住民ニーズを把握し、コミュニティの活性化に繋げるよう活動を実施する。

活動結果③) ボランティアコーディネート

継続して多くのボランティアの皆様に関わって頂くことができた。活動の性格上、屋根での作業は安全確保が第一であり、大勢のボランティアのコーディネートは難しいものの、ニーズに合わせ、必要なことを必要な形でやる事が出来るようコーディネートを

実施した。結果、県内外から継続してボランティアの参加があったことは、災害ボランティア活動の活性化という点で成果であると考えます。

課題) 継続参加のボランティアが多い一方で、新規のボランティアは多くなく、ボランティアのすそ野を広げる呼びかけや工夫が必要と考えます。

「コミサポひろしま」では、熊本県益城郡益城町を中心として、震災発生直後から活動を続けています。

今回、「ボラサポ・九州」の助成金を活用させて頂き、未だ修繕が進んでいない被災家屋、特に雨漏り等の被害を防止するため、屋根の補修修繕を継続的に実施しました。

また、11月後半からは、これまでの活動で住民さんとの繋がりができた、上辻、安永東、平田、馬水東道仮設団地での住民イベントの企画運営協力、保育園のクリスマス会への企画運営協力なども実施しました。

活動の成果としては、①家屋の補修修繕による2次被害の防止、②被災住民さんの精神的な面でのケア(痛んだ住居を放置していることに対する不安等の解消)、③イベントを通じた住民コミュニティの強化、が挙げられます。

特に、①②に関しては、災害ボランティアセンターも含め、被災住民のニーズの受け皿が少なく、当団体の強みを活かしつつ、様々なケースへの対応を行うことができ、それにより、少しでも被災地の復興へ寄与できたと考えています。

加えて、これまでの活動から住民さんとの信頼関係も生まれ、地域や保育園でのイベント実施の協力を行うなど、課題に対する活動の幅も広がっています。

熊本地震からの復興へのご支援、誠にありがとうございます。

「コミサポひろしま」では、皆さんからの寄付金を活用させていただき、益城町を中心に活動をさせて頂いています。

被災地では冬を迎え、寒い毎が続きます。被災された住民の皆さんは、住み慣れた住居から仮設住宅や仮住まいへ移られ、慣れない中、将来へ向かって少しずつ歩みを進めているように感じます。

当団体は、家屋の修繕事業や、そこで繋がった住民さんとの絆を大切にしながら、少しでも住民さんの歩みに寄り添えるよう、これからも、地域や仮設団地など、コミュニティの支援を行っていく予定です。

被災地に住む皆さんが、一日でも早く日常へ戻れるよう、今後とも皆様からの復興へのご助力よろしく申し上げます。